

インド準備銀行、政策金利の引き下げを決定 景気減速に配慮し約5年ぶりの利下げ

インド準備銀行（中央銀行、RBI）は金融政策決定会合（2月5～7日）を開催し、最終日の2月7日、政策金利をそれまでの6.50%から0.25%引き下げて6.25%にすることを決定しました。利下げは約5年ぶりとなります。RBIの動向、市場の反応および今後の見通しについて解説いたします。

約5年ぶりの利下げを決定、景気減速に配慮

金融政策について：

- RBIは定例の金融政策決定会合（2月5～7日）を開催し、最終日の2月7日に政策金利であるレポ金利をそれまでの6.50%から**0.25%引き下げて6.25%にすることを決定**しました。政策金利の引き下げは約5年ぶり（2020年5月以来）となります。なお今回の政策決定会合は昨年12月にRBI総裁に就任したマルホトウ氏*にとって初めての会合となりました。

*前任のダス氏は任期満了で退任。

- RBIは昨年10月の同会合で金融政策方針をそれまでの『緩和の縮小（引き締め）』から『中立』に修正しており、**利下げに向けた地ならしを進めてきました**。
- 今回の利下げについては**市場予想通り**となり、会合後に公表された声明文では、金融政策委員会（MPC）メンバー6人**全員が今回の利下げを支持**したことが示されました。
- RBIは今回の利下げの理由に、**国内経済の減速懸念**をあげました。

経済成長について：

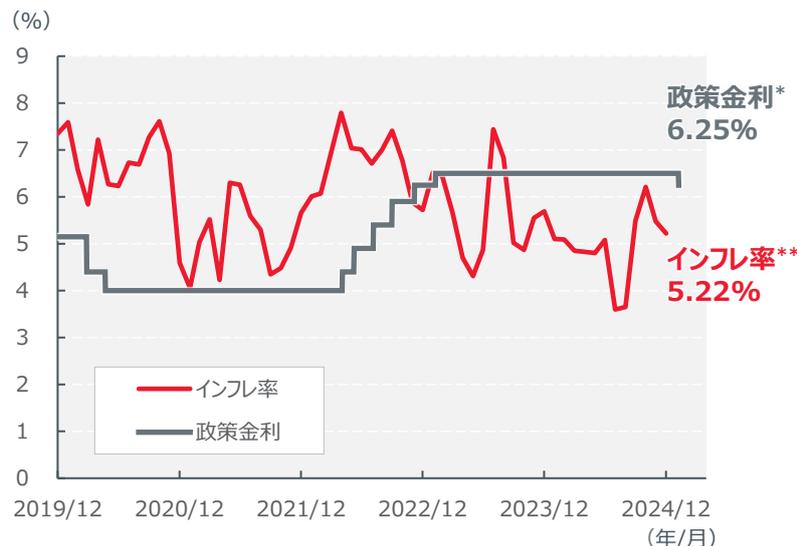
- RBIはインド経済については、2024年度（2024年4月～2025年3月）の実質GDP（国内総生産）成長率見通し（前年度比）を従来の6.6%から**6.4%に引き下げ**、前年度（2023年4月～2024年3月）の8.2%から**減速する見通しであることを発表**しました。しかし、今後の経済活動は改善に向かうとし、2025年度（2025年4月～2026年3月）の同見通しについては**6.7%と予想**しました。

インフレについて：

- RBIは2024年度の消費者物価指数（CPI）上昇率（インフレ率、前年比）見通しについては**4.8%とし、2025年度は4.2%に低下すると予想**しました。インドでは12月のインフレ率が前年同月比5.22%を記録し、RBIの中期目標である4%は上回っているものの許容範囲とする2～6%に収まっており緩和傾向にあります。これは主に食品価格の高騰が緩和したことの影響によるものです。

【政策金利*とインフレ率**の推移】

（2019年12月31日～2025年2月7日）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*レポ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次、新基準（2012年=100）による統計を使用。2024年12月まで。

【実質GDP（国内総生産）成長率見通し】

（前回と今回の比較）



出所：RBIのデータなどに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

250210 (05)

(1/2)

➤ 市場の反応と今後の見通し

- 今回の政策金利の引き下げは概ね市場予想の範囲内であり、2月7日の市場の反応は限定的で株式、債券、為替ともに小動きとなりました（SENSEX指数は前日比 -0.25% 、10年国債利回りは前日比 $+5$ ベーシスポイント（ $+0.05\%$ ））。
- 今後の金融政策はインフレの動向（物価の安定）と経済成長がより重要となります。RBIのマルホトラ総裁は今後の経済見通しについて、雇用状況の改善、2月1日に発表された国家予算案における減税、インフレの緩和、そして好調な農業生産が経済成長を支援すると指摘しています。

※ 次回の金融政策決定会合は2025年4月（7～9日）に開催予定。

【SENSEX指数の推移】

（2019年12月31日～2025年2月7日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※配当無し（プライス）、インドルピーベース。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。